

★広川町「こもれびのいえ」で保育実習を行いました！

12月22日（月）23日（火）の2日間、広川町NPO法人託児所「こもれびのいえ」において、1年1組ヒューマンサービスコース希望の生徒19名が冬季休業中に保育実習を体験しました。高校生の周りには幼児がたくさん集まり、野外活動や砂遊びなど楽しい時間を一緒に過ごしました。また、食事の介助においては担当の乳幼児に優しく声をかけるなど、安全に配慮しながら実習に励む生徒の姿が見られました。2日間の保育実習では、様々な年齢の乳幼児と触れ合うことを通じて、発達段階に応じた子どもの成長や特徴を学ぶ貴重な機会となりました。今回の保育実習で学んだことを、これから進路選択に向けて活かしていきます。

★広川町NPO法人託児所「こもれびのいえ」で保育実習をする生徒達★



中司茉那さん（矢部清流学園出身）

幼児の遊びに対する集中力や意欲に驚きました。仲間や集団での体験やコミュニケーションが人格形成などに繋がることを学び、今後は保育者としての視点を大切にしていきたいです。

松崎彩水さん（上陽北渉学園出身）

乳幼児との触れ合いを通して、初めて感じたことが沢山ありました。興味・関心をもって砂遊びに取り組む姿が可愛く感じられ、観察しながら楽しく実習に励みました。

★3年1組が生活教養にて「卒業茶会」を行いました！

生活デザイン科3年1組が1月29日（木）に令和7年度卒業茶会を行いました。この行事は、学校設定科目「生活教養」で2年間学んだ茶道の集大成として、お世話になった方々をお招きし、これまでの感謝の気持ちを込めて茶会を催します。お点前の代表生徒は練習の成果を披露し、丁寧な作法で心を込めてお茶を点てました。また、松花堂弁当の集団調理実習を行い、ご来賓のお客様や校長先生をはじめとする先生方にお出ししました。茶会に初めて参加された先生方に、生徒達が作法を熱心に説明する姿が見られるなど、高校生活最後の心温まる卒業茶会になりました。

※生徒デザイン和菓子「結桜」

松藤唯花さん（筑後中学校出身）
卒業のイメージがある桜と「感謝」や「縁」という意味がある蝶々結びをデザインしました。学校生活に対する感謝と新しい環境で多くの縁に恵まれるように願いを込めました。



※生徒デザイン和菓子「花霞み」

田中ひなさん（広川中学校出身）
色のグラデーションで時の流れ、帯状の形で思い出を記した巻物、抹茶餡で新生活の希望を表しました。目に溜めた涙で視界が霞む切なく儚い卒業の景色を表現しました。

